

## 令和6年度レジリエント社会・地域共創シンポジウム 共同開催のご挨拶

「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会  
会長 永田 恭介（筑波大学長）

令和6年度レジリエント社会・地域共創シンポジウムの共同開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

国立大学は、法人化から今年で20年になります。法人化以来、各大学では特色ある教育研究や社会貢献活動を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。また、創設以来、世界最高水準の教育研究の実施や重要な学問分野の継承・発展、すべての都道府県に設置され全国的な高等教育の機会均等の確保、グローバル人材の育成、といった役割を担ってきました。これからも国立大学は、我が国の研究力の源であって、我が国全体の、そして各地域の文化、社会、経済を支える中核拠点であり、産業、教育、医療、福祉などに十全の責務を負っていく覚悟です。さらなる高度人材の養成や、災害や感染症等に対応するレジリエントな社会の構築、地域社会とグローバル社会の牽引等、我が国の輝ける未来を創り出すために、国立大学は努力を続けていきます。皆様の更なるご理解と共感、そして力強い協働を頂けますと幸いです。

国立大学協会では、平成23年度から、各国立大学が地域と一体となって実施する防災や災害復旧・復興に関する活動や地域共創によりレジリエントな地域社会を実現していく活動等を支援する目的で、「レジリエント社会・地域共創シンポジウム」を開催しています。この機会を通して、参加者の皆様からのご意見を受け止め、防災等を含めた地域貢献にかかわる国立大学の教育・研究の一層の発展に努めていくとともに、地域で防災等にかかわる活動をしておられる住民の方々、地元自治体、政財界の方々とのより緊密な連携に努めてまいります。

最後に、本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

当協会は平成22年度から「国立大学フェスタ」と銘打ち、10月～11月の2か月間に各国立大学が地域と連携しながら実施するシンポジウムやオープンキャンパス、公開講座、市民講座などの様々な活動を集中的に皆様方に紹介しております。「大学改革シンポジウム」もこの「国立大学フェスタ」の一環として活動を展開することにより、国立大学の今を、地域、社会、産業界等、広く国民の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。